



賛助会員・機関誌購読者のみなさま、および
「3.11 からの出発」活動基金にご寄付くださったみなさまへ

2013.7.20

「3.11 からの出発」活動のご報告 No.10

松岡享子

皆さまのご支援を得て、陸前高田こども図書館「ちいさいおうち」ができてから1年半が経ちました。おかげさまで、利用する子どもたちも増え、活発な活動が展開されています。今回は、専属司書の吉田佳織さんから「平成24年度の活動報告」をお届けします。

この1年で、市の中心部に点在していた瓦礫の山々もだいぶ片付けられました。しかし、^{くうくう}空々とした町の姿は痛々しく、これを日常の風景として受け入れている子どもたちの環境は、まだとても落ち着いていとは言えません。それでも、これまで通行ができなかった道路が整備されたり、仮設の商業施設がまた1軒増えたりと、当館の周辺でも少しずつ明るい変化が見られます。

「ちいさいおうち」は、初めての春と夏も経験し、11月に開館から1年を迎えました。今年度もフロアワークに力を入れ、1対1での読み聞かせや本の紹介を積極的に行いました。子どもたちとの触れ合いを大切に、本を読む楽しさを知ってもらうための働きかけを心がけました。

()内は前年度

新規登録者は、地元の竹駒町以外からも多く、特に、当館から比較的近い高田町、横田町地区からの登録者が増えました。両地区の保育園や学校にお話会訪問をしたことがよいきっかけづくりになったと思います。後日、訪問先の子どもたちが来館し、その時紹介した本などを借りていくことも多く見受けられました。その1人、I君(小3)は、お話会で「七羽のからす」のストーリーテリングを聞いて以来、まずグリムの昔話にはまり、その後も『イギリスとアイルランドの昔話』『ノルウェーの昔話』『子どもに語る昔話』シリーズなど次々に昔話の本を読破しています。

登録者総数		375人(238)
開館日 (4/1～3/31)		火・水・金・土・日 248日(82)
利用者数 (閲覧者含む)	総数	3585人(1334)
	1日当り	14.5人(16.3)
貸出冊数	総数	5,456冊(2267)
	1日当り	22冊(27.6)
貸出者数	総数	1545人(657)
	1日当り	6.3人(8)
レファレンス総数		118件(50)
蔵書数		3739冊(2965)

年齢別貸出者の割合については、昨年と同様、未就学児と小学校低学年の利用が多く、延べ貸出者数の半数近くを占めています。Yくん(5歳)は、週に1回のペースで来館する常連さん。お気に入りの『まちにはいろんなかおがいて』をまた一緒に読んでみると、「ねえ見て!」と作中の写真を、自分の顔で模写。それがあまりにも特徴を捉えた表情で、館内中が笑いに包まれました。H君(小1)も、お気に入りの本に出会えた1人です。虫が大好きで、昆虫図鑑など、写真を楽しむ本を中心に借りている男の子です。文字数の多いノンフィクション読み物の『クワガタクワジ物語』をすすめたところ、次に来館した時に、「面白かった!」とホクホクした笑顔で返却してくれました。一緒に読んでお母さんも、こんなに面白いとは、と嬉しそうに話していました。その後もH君は、「面白いからさあ」とこの本を今年度だけで合わせて5回借りました。



月ごとの貸出者を比較すると、学校の長期休みの8、12、1月の利用が特に多いことが分かります。秋は保育施設や学校等の行事、スポーツの大会などで貸出人数は少し減少していますが、冬の訪れとともに利用が増えるのがこの地域の特徴です。今後も、子どもたちがまた続けて来館したくなるような魅力ある蔵書を構成しながら、心地よく過ごせる読書環境を整えたいと考えています。

初年度の開館期間は4ヵ月でしたので、図書の貸出・館内での読み聞かせや読書案内などの基本サービスが主でしたが、今年度はそれをより充実させながら、季節に合わせたテーマ展示やお話の時間、クリスマス会、絵本やわらべうたの講習会など、いくつかの催しを実施しました。また、当館の存在をより多くの住民の皆さんに知っていただこうと、さまざまな周知方法を試みました。こちらから働きかけたことは、市内全小学校への図書館だよりの配布（年3回発行）、乳幼児健診時の読み聞かせと図書館紹介（年5回）、それから催しを実施するごとに、市広報「りくぜんたかた」、地元の新聞、地域FMラジオへの情報提供です。その他、市内で配布している市復興マップや地域情報誌の取材にも積極的に応じ、子どもたちや保護者の方の目に留まる機会が増えるよう努めました。

他の施設との連携も積極的に行いました。竹駒保育園の仮設の建物が、当館の近くに設置されたこともあり、年少・年中・年長の各クラス、計3回の見学を受け入れ、お話会のあと、館内で絵本を読みました。竹駒小学校2年生の見学では、図書館の案内や利用の仕方を説明しました。米崎小学校の見学では、それに加えてお話会と、読書の時間を設けました。

外部への訪問については、横田保育園、下矢作保育園、広田保育園の3施設と、高田小学校、広田小学校、横田小学校の3校、計6ヵ所に出向き、NPO法人うれし野こども図書室会員とお話会を行いました。高田小学校の訪問の際には地元の読み聞かせグループ「おはなしペパン」にもご協力をいただきました。市立図書館との連携では、教育委員会生涯学習課の依頼で、23年12月～24年5月の期間、復興に関わる郷土資料の選書を担当しました。

その他、今年度後半から、7ヵ月、1歳半、2歳半、3歳半健診での読み聞かせの補助を行いました。

12月1日には、同じ敷地内に、広さ約15畳の仮設陸前高田市立図書館が開館しました。こちらは大人向けの図書に絞った蔵書構成となっていますので、休日に家族でいらっしやって、保護者は市立図書館、子どもたちは「ちいさいおうち」で本を借りる、という利用の仕方も増えています。陸前高田市教育委員会より、市の図書館の児童室として運営を任されている責任を果たし、今後も仮設市立図書館と連携を図りながら、地域の皆さんに愛される図書館づくりを行っていきたいと思います。

県内外からの見学者は今年度も多く、年間で約400人の方が訪れました。新聞や雑誌等の取材は21件でした。

8月には助成金により、本棚の増築と、閉架書棚として活用できる吊り戸棚の設置をすることができました。
〈吉田佳織記〉

今年度も引き続き、松岡理事長や当館職員の小友小学校への訪問が決まりました。今学期は7月22日にお話会に出かける予定です。このことは、また次回、報告いたします。

公益財団法人 東京子ども図書館

〒165-0023 東京都中野区江原町1-19-10 Tel.03-3565-7711 Fax.03-3565-7712 URL <http://www.tcl.or.jp>

振込先 ゆうちょ銀行／郵便局 口座記号番号 00130-9-115393 加入者名 公益財団法人 東京子ども図書館

*報告のバックナンバーは、ホームページでもお読みいただけます。